

新ひだか町立病院コラム Vol. 23

発信日: R5.3.31

タスクフォース目標結果発表会

新ひだか町立病院では、安心・安全な医療体制を構築し、持続可能な病院運営を行うために、令和4年9月からタスクフォースチームを結成し、日々話し合いをする中から、新しいことへのチャレンジを行ってきました。

3月24日には、この半年間の「特徴的な取り組みや成果」また「未達成の課題」などの発表会を行いましたので、今回はその内容を取り上げて行きます。

●タスクフォースについて

重要度・緊急度の高い課題の解決や企画の立案などを行うため、7つの分野のタスクフォースチームを、多職種10名前後で構成しています。

地域の皆さまから「良い病院」と思ってもらえることを目標に、月1回以上の話し合いから、現状課題の精査・新しいことへのチャレンジを行っています。

●半年間の特徴的な取り組み

1. 地域連携 TF ➡ 患者さまの受入れを断らない体制作りの強化
2. 入院 TF ➡ 入院時からの退院調整を推進
3. デジタル化 TF ➡ アプリ(Sma-pa)と連動した受付精算機の導入
4. 在宅 TF ➡ 地域の在宅ニーズを事業所などにヒアリング
5. 一体運営 TF ➡ 静内=三石 両病院の電子カルテ共有推進
6. コスト削減 TF ➡ 毎日節電 Day の実施
7. 広報 TF ➡ インフル予防接種チラシ配布や心臓ドックの開始



院長のつぶやき



院長の小松です。先日、当院において「タスクフォース目標結果発表会」が行われました。町立静内病院と三石国保病院において、経営改善をすべく、7つの項目に対し、院内の各部署から選出された、延べ 62 名のスタッフが様々な視点から課題を抽出し、解決に導くための方策を提示し、それらを実行してきました。

年度途中に立ち上げたタスクフォースチームで決して十分な準備並びに実行期間があったわけではありませんが、各々の発表を聴くにあたり、メンバーがそれぞれ深く考えているという事、決して無理とは言わずに行動を起こしていたこと。そして皆さんがしっかりと良好なコミュニケーションの下で話し合いをしていたことに驚かされました。

特に印象に残ったのは、1. コスト削減に対する一層の意識改革 2. 診察患者さまを待たせないための体制の見直し 3. 職員交流や人材育成 4. 地域に密着した医療システムの構築 5. 入院診療の充実 6. コロナ禍における診療体制の維持 7. 在宅医療のシステム構築のための現状把握等がありました。どれも病院が現在抱えている喫緊の課題で、それぞれが解決の方向に向かっていきます。

新年度はテーマをより絞って掘り下げることで、今回明らかになった問題点の洗い出しを行い、その解決に向け一つ一つの成功を積み重ね、着実に目標達成へと進んでいきたいと思っております。新ひだか町の医療向上のために力を結集して取り組んでいますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



作成: 新ひだか町立病院

❁ 町立静内病院 0146-42-0181 (代表)
新ひだか町静内緑町4丁目5番1号
❁ 三石国保病院 0146-33-2231 (代表)
新ひだか町三石本町214番地

令和5年度も引き続きタスクフォースを構築し、安心安全な病院を目指します。